

# ERATO 浅野プロジェクト講演会・生物工学研究センターセミナー

日時： 平成 27 年 1 月 23 日（金） 14:40～16:10 来聴歓迎（参加自由）

場所： 富山県立大学生物工学研究センター K115 共同会議室

演題： ステロイド薬と同程度強く、副作用が少ない、使い易い抗炎症剤(バイオ医薬品)の開発とその共結晶構造を基にした  
NF- $\kappa$ B 阻害薬(低分子化合物)の開発

講師： 岡本一起 准教授（聖マリアンナ医科大学 大学院 疾患プロテオーム・分子病態治療学）

要旨： ステロイド抗炎症薬は、他の抗炎症剤に比べて、全ての炎症を迅速かつ確実に抑制する最強の抗炎症剤です。それゆえ、あらゆる臨床各科で使われ、日本国内での年商は600億円を超えています。しかし、ステロイド薬には重篤な副作用と副腎機能減退作用があり、重症例に対してのみ短期間限定的に使用しているのが現状です。発表者は、ステロイド薬の研究中に、核内酸性タンパク質MTI-IIが炎症性転写因子 NF- $\kappa$ B の コリプレッサーとして働き、強力な抗炎症作用を持つことを発見しました。MTI-IIを利用すれば、ステロイド薬並みの効果があり、重篤な副作用が少ない使い易い抗炎症剤の開発が可能です。本講演では、ステロイド薬とMTI-IIの抗炎症作用機序を概説し、開発中のMTI抗炎症剤の成果を紹介いたします。また、MTI抗炎症剤と NF- $\kappa$ B の結合ポイントを解析することから得られる新しい NF- $\kappa$ B 阻害薬(低分子化合物)の可能性について、先生方のご意見をお伺いしたいと思っております。

連絡先： 浅野泰久

ERATO 浅野酵素活性分子プロジェクト事務室 担当：松田元規

TEL:0766-28-2280 Fax:0766-88-2422

E-mail: m-matsuda@pu-toyama.ac.jp